

今回のテーマは「たばこ」

5月31日は「世界禁煙デー」、5月31日～6月6日は「禁煙週間」です。さて、なぜ未成年者の喫煙は法律で禁止されているのでしょうか。この機会に、改めてたばこについて考えてみましょう。



5月31日は「世界禁煙デー」!

5月31日は「世界禁煙デー」です。現在、多くの場所で「禁煙」や「分煙」が進められており、また、国が示している健康目標には「未成年者の喫煙をなくす」というものがあります。つまり、未成年者の喫煙は法律で禁止されていますが、残念ながら実際には喫煙者がいるということです。

では、なぜ未成年者の喫煙は、法律で禁止されているのでしょうか?

「吸わない!」その行動を支える知識

たばこに関するクイズ



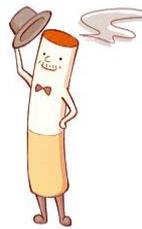
①たばこに含まれる有害物質の種類はどのくらいある?

- A 50種類
- B 100種類
- C 200種類



②たばこは「ゲートウェイ(入り口)ドラッグ」と呼ばれます。何への入り口?

- A 警察署
- B さらに強い薬物
- C 生活習慣病



③未成年者が喫煙したとき、法律で処罰されるのは?

- A 本人のみ
- B 本人と親
- C 親とたばこを販売した者



④子どもの頃から吸う人と大人になってから吸う人。病気になりやすいのは?

- A 子どもの頃から
- B 大人になってから
- C どちらも変わらない



【答え】①C ②B ③C ④A



引用: 健康教室5月号(東山書房)

未成年者の体は、大人に比べて喫煙の害をより受けやすいです。正しい知識をもって、適切な判断・行動ができる人になりましょう。